



令和3年2月26日

蒲刈中学校だより

発行：呉市立蒲刈中学校
文責：校長 柿林 浩彦

第34号

学校の活動を評価していただきました

2月16日に第3回小中合同学校関係者評価委員会を行いました。中学校からは、学校評議員 西村 宣枝 様、菅原 章治 様、学校関係者評価委員 藤井 整志 様、PTA会長 丸山 真史 様にご来校いただき、授業を参観していただくとともに今年度の学校の取組を評価していただきました。協議の中では、「子どもが学校になじんでいると感じました。」や「掲示物からも生徒の頑張りが見られました。」「評価を来年度に生かしてください。」など、元気の出る貴重なご意見をいただきました。これらのご意見を来年度に生かしたいと考えておりますので、これからも蒲刈中学校を応援していただければと思います。なお、学校評価の詳細は、後日、学校ホームページにアップしますので、ご覧ください。

令和2年度 評価計画及び自己評価

(計画・中間・最終)

蒲刈中学校区 校番 23 学校名 呉市立蒲刈中学校

a 学校教育目標	未来を拓く生徒の育成	b 経営理念 ミッション・ビジョン	〈ミッション〉(学校の使命) 小規模校の良さを生かしてグローバル社会で活躍できる生徒の育成 〈ビジョン〉(将来の学校像) 地域創生の核となる学校
----------	------------	----------------------	---

c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点	○学力の向上を目指して、確実な知識・技能を習得させるとともに「教えて考えさせる授業」の充実を図り授業の中で課題解決に向けた活用場面を積極的に作り出す。 ○ふるさと学習や小中一貫教育の推進を通して、多くの人の生き方に触れさせ、自分に自信と誇りを持ち、自ら課題を見つけ、進んで学び活動できる生徒を育成する。
------------------------------	--

育成を目指す資質・能力	『知識・技能』『思考・判断・表現』『自己の生き方を考える力』『協働的に関わる力』
-------------	--

重点	評価計画(中期経営目標を設定してから 1・2・③ 年目)				自己評価						
	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策(こんなことをして達成します)	g 指標(効果を見とる目安)	h 目標値	上半期			下半期		
						i 達成	j 達成	k 評	i 達成値	j 達成値	k 評価
*** 変化に対応して挑戦でき、「深く」「先を見て」「考え行動する生徒を育てる	知識・技能の確実な定着 ★確実に定着させた学習内容を活用し、困難や変化を多面的にとらえ、解決しようとする生徒の育成	○読書活動を充実させる。 ○生徒に予習・授業・復習の学習の流れを意識させる。特に予習や復習で学習した内容を授業に結びつける授業展開に取り組む。 ○帯時間を活用し、基礎的・基本的な学力の定着を図る。 ○体力づくりのためのサーキットトレーニング等の習慣化	○月の読書冊数の平均が3冊以上である生徒の割合	80%	58.60%	73.30%	C	53.8%	67.3%	C	
			○生徒に予習・授業・復習の学習の流れを意識させる。特に予習や復習で学習した内容を授業に結びつける授業展開に取り組む。 ○帯時間を活用し、基礎的・基本的な学力の定着を図る。 ○体力づくりのためのサーキットトレーニング等の習慣化	○生徒アンケートで、予習や復習に意義を感じている生徒の割合	90%	96.60%	107.30%	A	96.2%	106.9%	A
			○生徒に予習・授業・復習の学習の流れを意識させる。特に予習や復習で学習した内容を授業に結びつける授業展開に取り組む。 ○帯時間を活用し、基礎的・基本的な学力の定着を図る。 ○体力づくりのためのサーキットトレーニング等の習慣化	○生徒アンケートで、帯時間を使用したことに対して「基本の力が付いた」と感じた生徒の割合	90%	96.30%	107%	A	96.2%	106.9%	A
			○生徒に予習・授業・復習の学習の流れを意識させる。特に予習や復習で学習した内容を授業に結びつける授業展開に取り組む。 ○帯時間を活用し、基礎的・基本的な学力の定着を図る。 ○体力づくりのためのサーキットトレーニング等の習慣化	○生徒アンケートで、体力向上に努めたとする生徒の割合	80%	96.55%	120.68%	A	96.2%	120.4%	A
** 地域を愛し協働して貢献でき、夢を抱き夢への道を拓く生徒	思考力・判断力・表現力の育成 ★グローバルな視点や多様な考え方を踏まえて先を読み、課題解決や未来を拓くための行動ができる生徒の育成	○「教えて考えさせる授業」を展開し、主体的・対話的で深い学びに向けた授業スタイルを確立する。 ○生徒が学んだことを整理したり、表現したりする場を多く設定する。 ○NIE実践指定校として、新聞を活用し、社会で起きている様々な事象を調べたり、その中で見つけた課題を整理させたりする。 ○授業において、学期に一度以上ICTを用いた授業に取り組む。	○授業アンケートで生徒が主体的に学習できるような授業づくりに取り組んだ教員の割合	100%	87.50%	87.50%	B	91.7%	91.7%	B	
			○「教えて考えさせる授業」を展開し、主体的・対話的で深い学びに向けた授業スタイルを確立する。 ○生徒が学んだことを整理したり、表現したりする場を多く設定する。 ○NIE実践指定校として、新聞を活用し、社会で起きている様々な事象を調べたり、その中で見つけた課題を整理させたりする。 ○授業において、学期に一度以上ICTを用いた授業に取り組む。	○生徒アンケートで、自分が考えたことを表現する場が多くあったと回答した生徒の割合	80%	100%	125%	A	100%	125%	A
			○「教えて考えさせる授業」を展開し、主体的・対話的で深い学びに向けた授業スタイルを確立する。 ○生徒が学んだことを整理したり、表現したりする場を多く設定する。 ○NIE実践指定校として、新聞を活用し、社会で起きている様々な事象を調べたり、その中で見つけた課題を整理させたりする。 ○授業において、学期に一度以上ICTを用いた授業に取り組む。	○生徒アンケートで、新聞を通して社会の課題について考えることができた生徒の割合	90%	72.40%	80.40%	B	84.6%	94.0%	B
			○「教えて考えさせる授業」を展開し、主体的・対話的で深い学びに向けた授業スタイルを確立する。 ○生徒が学んだことを整理したり、表現したりする場を多く設定する。 ○NIE実践指定校として、新聞を活用し、社会で起きている様々な事象を調べたり、その中で見つけた課題を整理させたりする。 ○授業において、学期に一度以上ICTを用いた授業に取り組む。	○授業アンケートで、学期に一回以上ICTを用いた教員の割合	100%	44.44%	44.44%	D	75%	75%	C
* 働き方改革の組織的な協働による効率視点で業務改善を行う	自己の生き方を考える力の育成 ★夢を持ち、夢を語り、志高く自己の生き方を考え、地道によりよく生きるための努力をする生徒の育成 協働的に関わる力の育成 ★地域や仲間を愛し、相手の気持ちを尊重して協働し、積極的に貢献しようとする生徒の育成	○適切な機会を利用してキャリア教育の展開し、自己の進路について考えさせ、自分の進路について話す機会を設定する。 ○「未来を拓く100のあい」で多くの生き方に触れる機会を設定し、生徒に自己の生き方について考えさせる。 ○食に関する指導及び健全な食生活を考えさせる機会をつくる。 ○総合的な学習の時間を中心とした「ふるさと学習」で、郷土愛を育成する。 ○異なる年齢の生徒同士が協力して取り組むことができる行事を設定し協働的に関わることの大切さを体験させる。 ○地域行事への積極的な参加を促す取組	○自分の進路について話す機会を年間一回以上設定し、実践できた割合	100%	44.44%	44.44%	D	58.3%	58.3%	D	
			○「未来を拓く100のあい」で多くの生き方に触れる機会を設定し、生徒に自己の生き方について考えさせる。 ○食に関する指導及び健全な食生活を考えさせる機会をつくる。 ○総合的な学習の時間を中心とした「ふるさと学習」で、郷土愛を育成する。 ○異なる年齢の生徒同士が協力して取り組むことができる行事を設定し協働的に関わることの大切さを体験させる。 ○地域行事への積極的な参加を促す取組	○生徒アンケートで、自分の生き方について考えることができた生徒の割合	90%	18.50%	20.60%	D	84.6%	93.9%	B
			○「未来を拓く100のあい」で多くの生き方に触れる機会を設定し、生徒に自己の生き方について考えさせる。 ○食に関する指導及び健全な食生活を考えさせる機会をつくる。 ○総合的な学習の時間を中心とした「ふるさと学習」で、郷土愛を育成する。 ○異なる年齢の生徒同士が協力して取り組むことができる行事を設定し協働的に関わることの大切さを体験させる。 ○地域行事への積極的な参加を促す取組	○生徒アンケートで、「食」を通して自己の健康について考えることができた生徒の割合	80%	89.65%	112.06%	A	92.6%	115.8%	A
			○「未来を拓く100のあい」で多くの生き方に触れる機会を設定し、生徒に自己の生き方について考えさせる。 ○食に関する指導及び健全な食生活を考えさせる機会をつくる。 ○総合的な学習の時間を中心とした「ふるさと学習」で、郷土愛を育成する。 ○異なる年齢の生徒同士が協力して取り組むことができる行事を設定し協働的に関わることの大切さを体験させる。 ○地域行事への積極的な参加を促す取組	○生徒アンケートで、自分の住んでいる地域が好きな生徒の割合	100%	96.60%	96.60%	B	88.5%	88.5%	B
* 働き方改革の組織的な協働による効率視点で業務改善を行う	自己の生き方を考える力の育成 ★夢を持ち、夢を語り、志高く自己の生き方を考え、地道によりよく生きるための努力をする生徒の育成 協働的に関わる力の育成 ★地域や仲間を愛し、相手の気持ちを尊重して協働し、積極的に貢献しようとする生徒の育成	○積極的にコミュニケーションをとることを通じて、お互いの得意分野を知り、効率のよい業務の運営に生かす。 ○職場の中で、業務改善を意識した意見を出し合ったり、教育環境を整えたりすることで積極的に業務の見直しを行う。	○毎月の全教職員の時間外在校等時間の平均を45時間以内とする。	100%	31.09 時間 毎月ク リア 100%	100%	A	毎月ク リア 100%	100%	A	
			○職場の中で、業務改善を意識した意見を出し合ったり、教育環境を整えたりすることで積極的に業務の見直しを行う。	○教職員アンケートで、業務改善を意識した意見を出し合ったり、教育環境を整えたりすることで業務改善が進んでいると回答した教職員の割合	80%	81.80%	102.25%	A	93.3%	116.6%	A

【注：評価】
A: 100% (目標達成) B: 80% (ほぼ達成) < 100
C: 60% (もう少し) < 80 D: (できていない) < 60

伝統継承に取り組んでいます

～蒲刈太鼓と下蒲刈太鼓について～

学校だより第 32 号でお知らせしましたが、蒲刈島と下蒲刈島の伝統文化の継承に 1・2 年生が取り組んでいます。2 月 22 日（月）の総合的な学習の時間に、蒲刈小学校出身の生徒は蒲刈太鼓を、下蒲刈小学校出身の生徒は下蒲刈太鼓を披露しました。自分の島の太鼓を引き継ぐとともに他の太鼓についても知ることができました。この様子は、近日中に学校ホームページに動画をアップする予定ですのでご覧ください。よろしくお願いいたします。



第 18 回卒業証書授与式のご案内

次のように第 18 回卒業証書授与式を挙行政いたします。また、昨年度と同様に呉市教育委員会からの基本方針に従って行うため、生徒・教職員以外の参加は卒業生の保護者のみとさせていただきます。何卒ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

- 1 日 時 令和 3 年 3 月 13 日（土） 9 時 30 分～10 時 00 分
- 2 会 場 蒲刈中学校 体育館
- 3 参加者 卒業生・卒業生の保護者（原則、1 家庭 2 名以内）
教職員・在校生 ※ 来賓の参加はありません。

4 留意事項

- ・保護者の方は、9 時 20 分までに体育館の保護者席にご着席ください。
- ・風邪や発熱等の症状のある場合は参加できません。（この場合は、7 時 30 分から 8 時までに学校（0823-68-0020）に連絡してください）
- ・感染等により重症化の不安のある高齢者や基礎疾患を有する方は参加をご遠慮ください。
- ・当日は、マスクの着用をお願いいたします。家庭にない場合は、学校で配付いたします。
- ・保護者の参加は、1 家庭 2 名以内となっておりますが、乳幼児等を家庭に残すことができない場合はその限りではありません。
- ・参加される保護者の方は別紙の健康調査票にご記入の上、当日受付でご提出をお願いします。
- ・駐車場は、学校前空き地を準備しております。